

令和7年3月24日
国土交通省関東地方整備局
防災室

能登半島地震を踏まえた災害対応検討ワーキンググループの 検討結果について

～能登半島地震から得られた教訓と対応方針及び房総半島をモデルとしたGISの作成・共有～

令和6年3月に設置した「能登半島地震を踏まえた災害対応検討ワーキンググループ」において教訓と対応方針をとりまとめるとともに房総半島の基礎情報をGISで集約しました。
検討結果を活かすとともに関係機関との連携強化を目指し、災害や大規模事故発生時の円滑な対応に向けて半島地震における孤立集落の発生を想定した訓練の実施を千葉県と調整してまいります。

令和6年能登半島地震を契機として設置した「能登半島地震を踏まえた災害対応検討ワーキンググループ」において、能登半島地震により得られた教訓と対応方針の検討を行い、関東地方整備局での災害対策の基準となる「災害対策運営要領」に反映を予定しています。

また、房総半島に位置する市町村役場や道路・港・浄水場などのインフラ施設、ヘリポートや避難所などの位置情報（緯度経度情報）、施設規模情報をそれぞれ整理し、必要に応じて重ね合わせが可能な情報としてGIS上で整理・集約しました。

併せて、本GISデータを千葉県とも共有し、同じ情報を扱える環境を構築しました。

このことにより、有事の際の被災情報を元に職員や災害対策用機械の派遣先の絞り込みを迅速に行えるほか、千葉県との図による情報共有を容易にし、連携強化が期待されます。

今後、更なる連携強化に向けて、半島地震による孤立集落の発生を想定した訓練を千葉県と合同で実施し、GISデータの活用や得られた知見により、ブラッシュアップを図ります。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ

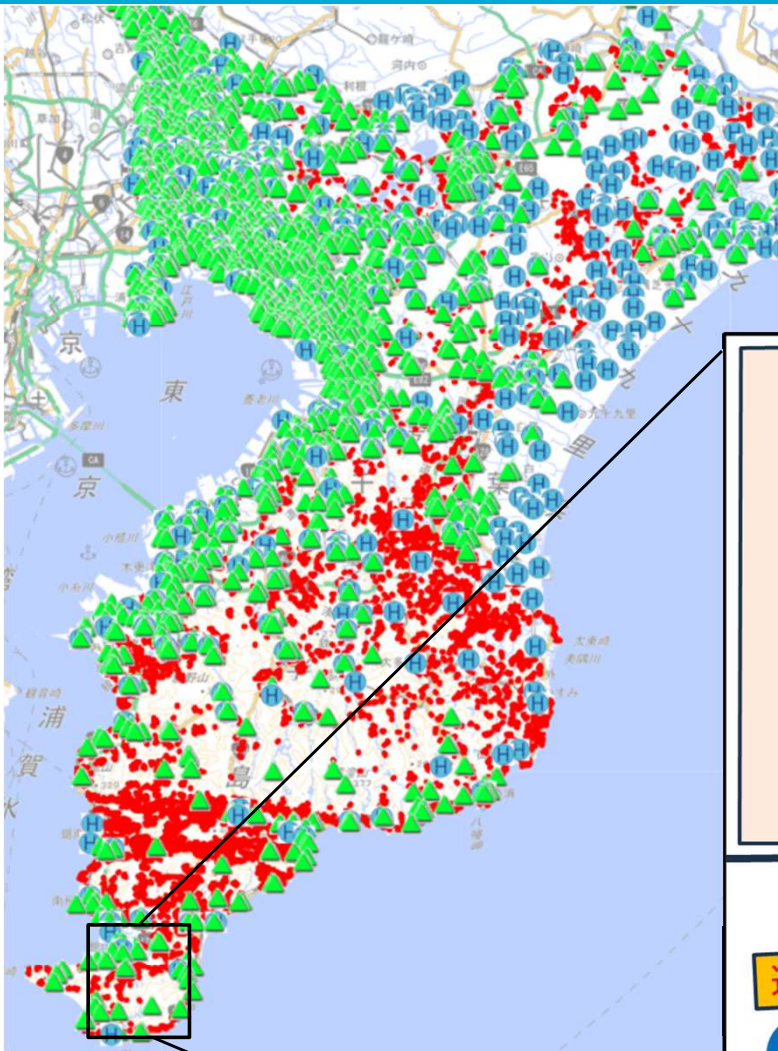
<問い合わせ先>

関東地方整備局 統括防災グループ

電話：048-601-3151（代表） FAX：048-600-1376

防災室 室長 高橋（内線：2151）

防災室 課長補佐 鳥居（内線：2153）








特徴

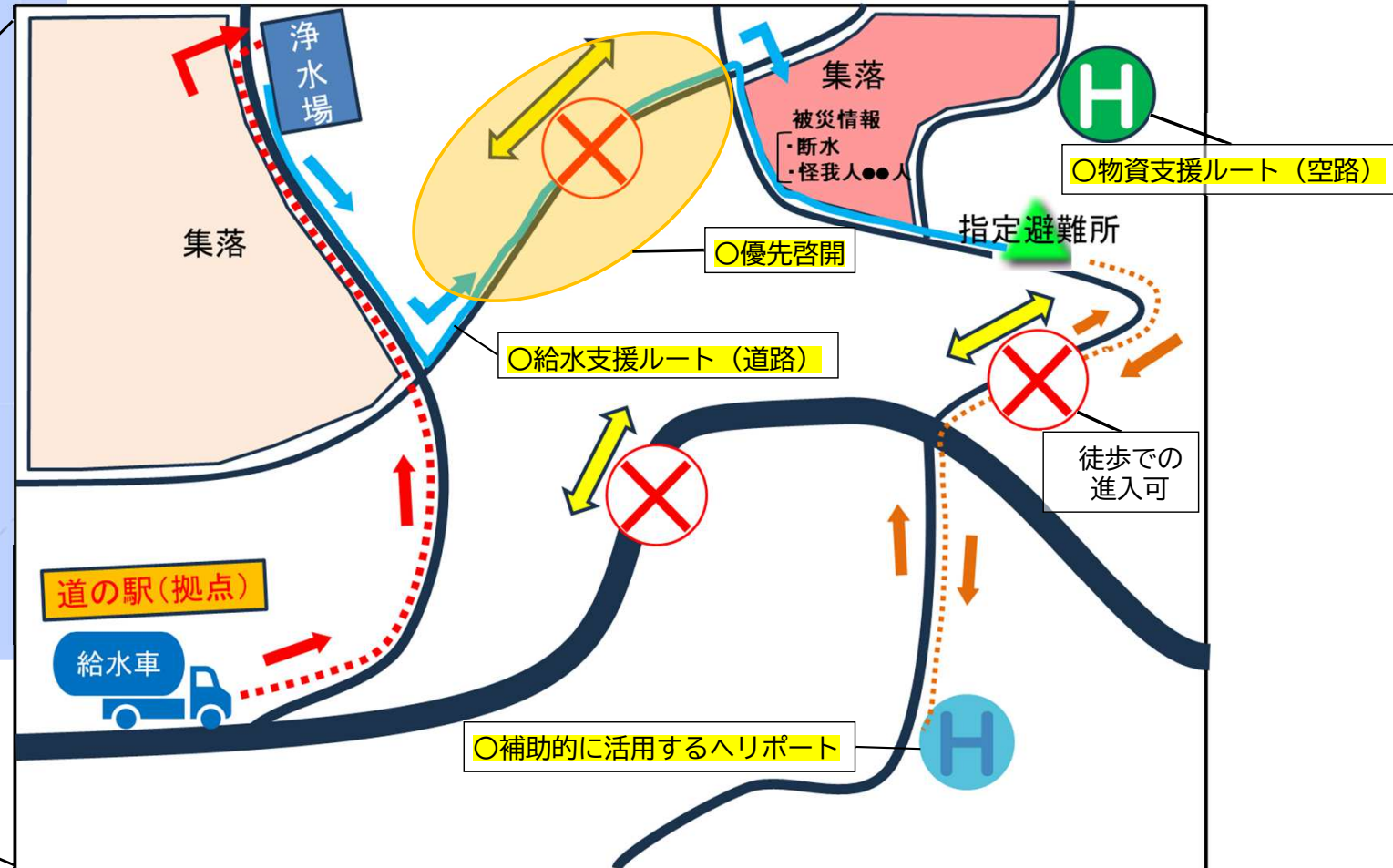
- ・被災情報の把握・集約・共有が容易。
- ・視覚的に支援に係る優先利用道等を共有できる。

目標

- ・日常業務からの活用による一般化を目指す。

【凡例】

	指定避難所
	ヘリポート
	ヘリ臨時離発着場適地
	被災箇所
	通行止め区間



○被害情報・避難・支援方策等を一元化し災害対応方策の共有・意思決定に寄与する